

18:13 翌日、モーセは民をさばくためにさばきの座に着いた。民は朝から夕方まで、モーセのところに立っていた。

18:14 モーセのしゅうとは、モーセが民のためにしているすべてのことを見て、こう言った。「あなたが民にしているこのことは、いったい何ですか。なぜあなたひとりだけがさばきの座に着き、民はみな朝から夕方まであなたのところに立っているのですか。」

18:15 モーセはしゅうとに答えた。「民は、神のみこころを求めて、私のところに来るのです。」

18:16 彼らに何か事件があると、私のところに来ます。私は双方の間をさばいて、神のおきてとおしえを知らせるのです。」

18:17 するとモーセのしゅうとは言った。「あなたのしていることは良くありません。」

18:18 あなたも、あなたといっしょにいるこの民も、きつと疲れ果ててしまいます。このことはあなたには重すぎますから、あなたはひとりですることはできません。

18:19 さあ、私の言うことを聞いてください。私はあなたに助言をしましょう。どうか神があなたとともにおられるように。あなたは民に代わって神の前にいて、事件を神のところに持って行きなさい。

18:20 あなたは彼らにおきてとおしえとを与えて、彼らの歩むべき道と、なすべきわざを彼らに知らせなさい。

18:21 あなたはまた、民全体の中から、神を恐れる、力のある人々、不正の利を憎む誠実な人々を見つけ出し、千人の長、百人の長、五十人の長、十人の長として、民の上に立て

なければなりません。

18:22 いつもは彼らが民をさばくのです。大きい事件はすべてあなたのところに持って来、小さい事件はみな、彼らがさばかなければなりません。あなたの重荷を軽くしなさい。彼らはあなたとともに重荷をになるのです。

18:23 もしあなたがこのことを行なえば、・・・神があなたに命じられるのですが、・・・あなたはもちこたえることができ、この民もみな、平安のうちに自分のところに帰ることができます。」

18:24 モーセはしゅうとの言うことを聞き入れ、すべて言われたとおりにした。

18:25 モーセは、イスラエル全体の中から力のある人々を選び、千人の長、百人の長、五十人の長、十人の長として、民のかしらに任じた。

18:26 いつもは彼らが民をさばき、むずかしい事件はモーセのところに持って来たが、小さい事件は、みな彼ら自身でさばいた。

18:27 それから、モーセはしゅうとを見送った。彼は自分の国へ帰って行った。

神様は共同体を通して、様々な人のために様々なことを行おうとしておられます。それは互いに働きを分け合わなければ、できないことです。モーセはそれを1人で抱え込んでいましたし、民はモーセに全て負わせていました。

私たちは抱え込まずに、他の人にも委ねることが必要です。また、ここにあるような小さなグループで解決してゆくことも必要なのです。あなたのセルグループはそのような価値観と責任感があるのでしょうか。まずは自分自身からよき模範となつてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

